



2022年2月9日

各 位

会社名 三井金属鉱業株式会社
代表者名 代表取締役社長 納 武士
(コード番号：5706 東証第一部)
お問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
落合 健司
(TEL. 03-5437-8028)

パーパスおよび全社ビジョンの設定について

当社 三井金属（社長 納武士）は、当社パーパスおよび全社ビジョンを設定いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループを取り巻く事業環境は、先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態であり、これまでの事業運営が通用せず、常に変化に対して柔軟かつ迅速に対応することが求められる状況にあります。そのような中、当社グループは「経済的価値」と「社会的価値」を両立した統合思考経営を実践することで、持続的な企業価値向上の仕組みを構築し、成長し続けるため、判断基軸となる「パーパス」と2030年のありたい姿として「全社ビジョン」を設定いたしました。

1. パーパス

変化に対して柔軟かつ迅速な対応をするためには、如何なる変化に直面しても、決して変わることはない判断基軸が必要となります。当社グループとして2050年の世界を想定の上、「人類への貢献」と「環境への貢献」を両立することが存在意義であるとの認識の下、以下をパーパスとして設定いたしました。

探索精神と多様な技術の融合で、地球を笑顔にする。

2. 全社ビジョン

当社グループでは、「マテリアルの知恵を活かす」ことを通じて、循環型社会に必要な新しい素材・サービスを創造し続け、人類発展と地球環境の両面で、なくてはならない企業となることを「2030年のありたい姿」として、以下を全社ビジョンとして設定いたしました。

マテリアルの知恵で“未来”に貢献する、事業創発カンパニー。

パーパス、全社ビジョンに基づき、現在、次期中期経営計画（22中計）の各種施策の策定に取り組んでおります。なお、22中計の公表は2022年5月を予定しております。

【本件お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5437-8028 FAX 03-5437-8029

E メール PR@mitsui-kinzoku.com

以上

◇添付資料

『パーパス・全社ビジョンについて』（別紙1）

パーパス・全社ビジョンについて

2022年2月9日

パーパスの策定

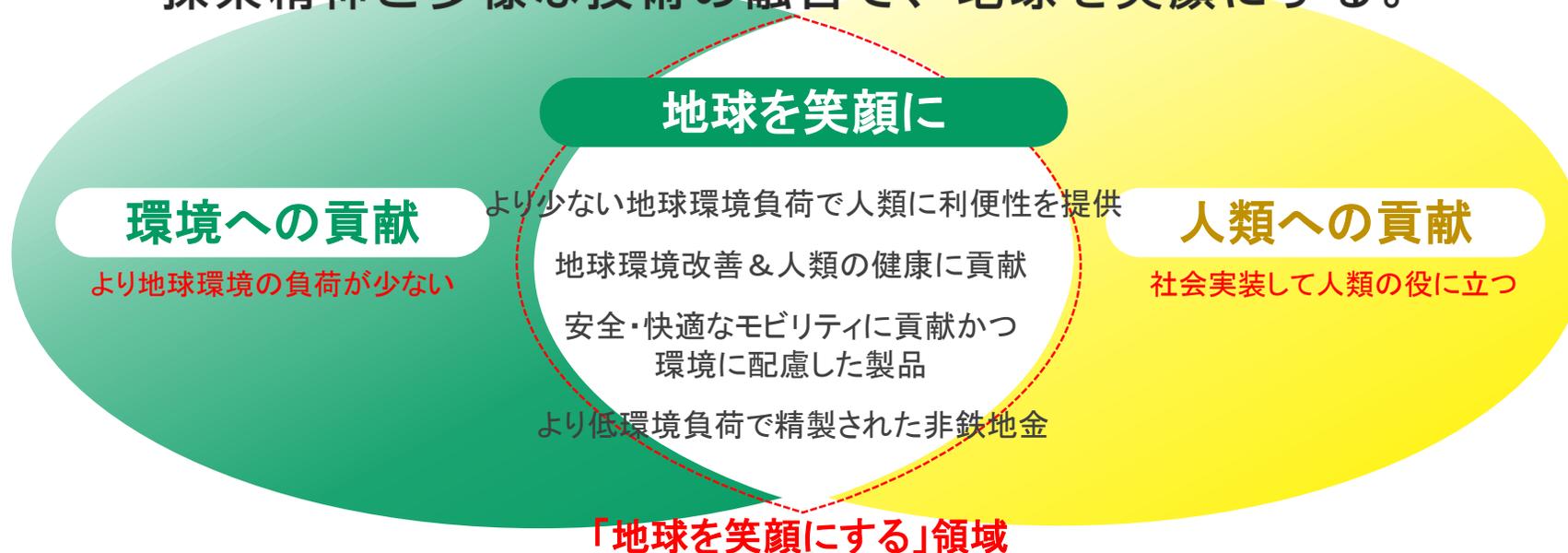
当社グループのパーパス（存在意義）

探索精神と多様な技術の融合で、
地球を笑顔にする。

パーパスの解釈について

環境の負荷が少ない「環境への貢献」と人類の役に立つ「人類への貢献」を両立した、「地球を笑顔にする」領域で、当社グループの探索精神と多様な技術の融合を活かす。

探索精神と多様な技術の融合で、地球を笑顔にする。



「地球を笑顔に」の事業活動

- 商品・事業のポートフォリオを低炭素社会と豊かな社会の両立に貢献する商品にする
- 事業活動における「環境負荷」を下げる
- 新規事業は「地球を笑顔に」する事業に特化する

「地球を笑顔に」で行動が変わる

- 「地球を笑顔に」することに共感する人財を採用していく
- 従業員、一人ひとりが地球を笑顔にするためのアイデアを考え、行動していく

全社ビジョンの策定

22中計と全社ビジョン（2030年のありたい姿）の位置づけ

企業経営を取り巻く環境が大きく変化。変化に柔軟に対応できる体制の構築が必要。
現状の延長線上ではなく、長期を見据えたバックキャストで全社ビジョンを定義。

SDGs・脱炭素化の加速や新型コロナなど企業経営を取り巻く環境が大きく変化

16中計
(2016~2018)

新たな成長ステージに向けた経営基盤の強化

19中計
(2019~2021)

2024年のありたい姿を実現する成長基盤の変革

22中計
(2022~2024)

創業150年の時を超えて未来を拓き続ける

2030

ありたい姿

バックキャスト

2050年の世界

2050年からバックキャストして2030年のありたい姿を設定

Sustainable Growth

2024

通過点の姿を意識

変革を促す 将来への布石

19中計での 成長戦略の実行

13中計、16中計の収穫

フォーキャスト

22中計はバックキャストとフォーキャストのベクトル合わせ

全社ビジョン (2030年のありたい姿)

マテリアルの知恵で“未来”に貢献する、
事業創発カンパニー。

全社ビジョン (2030年のありたい姿)

マテリアルの知恵で“未来”に貢献する、事業創発カンパニー^(*)。

マテリアルの知恵を活かす。

明治7年、創業からおよそ150年を迎える三井金属。

私たちが、これまで培ってきた「探索精神」と「多様な技術の融合」は、持続可能な社会の実現に向けて、世界からより一層つよく求められています。

新しいマテリアルの開発、低環境負荷でのものづくり、循環型サービスの構築。
マテリアルの知恵を、常識にとらわれない発想で組み合わせ、新たな事業を創出し、まだ見ぬ“未来”に不可欠な価値を、もっと世界中に届けたい。

地球と人が、もっと健やかな喜びを分かち合える“未来”。

私たち三井金属は、そんな“未来”に貢献するため、マテリアルの知恵を活かした「事業創発カンパニー」を目指します。

(*)事業創発カンパニー

個々の事業、部門が相互に関係することによって、個々の総和では得られない新たな価値を創り出すことにチャレンジする会社

パーパスと全社ビジョン

存在意義（パーパス）に基づき、2030年のありたい姿（全社ビジョン）を目指すことで、社会のニーズに対応し、社会貢献できる組織へ変容していく。

パーパス

探索精神と多様な技術の融合で、
地球を笑顔にする。

全社ビジョン

マテリアルの知恵で“未来”に貢献する、
事業創発カンパニー。

